

# 初心者から上級者まで、サクスの基礎を学ぶための練習用アイテム

## サクス用サイレンサー Silencer サイレンサー

問：セレクト インターナショナル(047-374-0792) <http://www.select-inter.com/>

スイス製のサクス用教則アイテム、“サイレンサー”が日本に入荷し、テナー、アルト、ソプラノ、バリトンの各種類が用意された。マウスピースに装着するだけで練習することができ、DVDと教則本もついたこのアイテムを、スムーズ・ジャズ・シーンなどで活躍中のかわ島崇文が試奏した。

### 「アンブシュアや耳のトレーニングに有効」かわ島崇文

ふだんマウスピースだけで音を鳴らすとずいぶん大きな音がしますが、このサイレンサーをつけると話し声くらいの大きさになります。これがまずひとつ目の特徴。家の中で吹いても苦情がこない程度の音量なのではないでしょうか。小さい音でマウスピースを練習して癖がついてしまったら、楽器に装着してもそれが自分の標準音量になってしまいま

すから。

そしてふたつ目の特徴は、マウスピースだけで音程がつけやすくなることです。サクスはひとつの音にひとつの運指があるので、指を動かせば音程が決まると思いがちですが、実は口(アンブシュア)や、喉による奏法(バンドやヴィブラート時など)で崩れやすいピッチを正確にコントロールすることも、とても重

要です。また、楽器の個性差によって特定の音程に高低が生じる場合がありますが、ライブ中に吹いた音が高くても、ネックからマウスピースを抜いて1音1音の音程を変えて……などという作業をいちいちしてはいられませんから、より細かいピッチ・コントロールは、変え指やアンブシュアで行なっています。このアイテムを使えばすぐそれに気付くことができますし、マウスピースだけでは音程が不安ですが、サイレンサーをつけることによって音程(=ピッチ・コントロール)が安定するので感覚を掴みやすいでしょう。また、自分の音程をコントロールする過程で、耳のトレーニングにもなると思います。マウスピースですっかりした音程を鳴らせば、楽器を吹いたときのピッチも良い……というのは感覚的に分かりいただけますよね？

僕は中学校で吹奏楽部に入部しま



かわ島崇文

<http://home.t00.itscom.net/smooth/>

したが、最初はずっとマウスピースだけで練習していた覚えがありません。同期の中には、それがつまらなくて辞めてしまう人もいましたが(笑)、おかげで音程や音質に関するいろいろなことに気付くのが早かった気がします。やはり、口の中から喉までのスペースを意識するということは、サクスを吹くうえで欠かせないポイントなのだと思います。

教則DVD(英語版、日本語解説付き)や楽譜なども付属していますが、自分でオリジナルの練習法を考えてもいいでしょう。初級者はもちろん、上級者でも自分の音色や音程などの基礎部分を見直すのに使えると思います。

